

シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	自動車工学		
科 目 名	シャシ構造 1		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科・二級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	1年前期 ・ 月曜日 ・ 3・4時限あるいは5・6時限		
時 限 数	24時限（中間及び期末試験を除く）		
担当教員名	廣石 泰大		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となるシャシを構成する各装置についての講義を実施する。		
授業の目的	動力伝達装置を構成する各 부품の構造・機能、及びそれらの装置の作動について講義する。		
テキスト	①三級自動車整備士（総合）（日本自動車整備振興会連合会 発行） ②二級自動車整備士（総合）（日本自動車整備振興会連合会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	自動車の運動性能	自動車の走る、曲がる、止まる原理と性能について解説	①P161~164 ②P8~16
第2回	クラッチ1	クラッチの構造、作動、種類及び特徴について解説	①P165~169
第3回	クラッチ2	クラッチ操作機構の構造、作動及び種類について解説。クラッチ小テスト実施	①P169~170 ②P79~81
第4回	クラッチ3	二輪車のクラッチの構造、作動種類及び特徴について解説	①P170~173 ②P81~82
第5回	マニュアル・トランスミッション1	マニュアル・トランスミッションの構造、作動について解説	①P174~176
第6回	マニュアル・トランスミッション2	シンクロ・メッシュ機構、インタロック機構、ギヤ抜け防止機構について解説	①P177~180
	中間試験	第6回までの授業内容に関する筆記試験	
第7回	マニュアル・トランスミッション3	二輪車のトランスミッションの構造、作動について解説	①P185~188
第8回	オートマティック・トランスミッション及びトランスファ	オートマティック・トランスミッション及びトランスファの構造、作動を解説	①180~184 189
第9回	プロペラ・シャフト	プロペラ・シャフトの構造、作動、種類及び特徴を解説	①190~192

第 10 回	ドライブ・シャフト	ドライブ・シャフトの構造、作動、種類及び特徴を解説	①192~194
第 11 回	ファイナル・ギヤ及びディファレンシャル	ファイナルギヤ及びディファレンシャルの構造、作動を解説 小テスト実施	①195~199
第 12 回	まとめ	期末試験へ向けた練習問題及び全講義の復習	
	期末試験	第1回～第12回までの授業内容に関する筆記試験	
到達目標	動力伝達装置の基本となる部品名称・構造・機能・作動を修得するとともに、それらの関連性を理解する。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、中間試験並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p style="margin-left: 40px;">中間試験の点数 30%</p> <p style="margin-left: 40px;">期末試験の点数 40%</p> <p style="margin-left: 40px;">平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p style="margin-left: 40px;">60～69点 = 可、70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点 = 可とする。</p>		
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が60点未満の場合。		